



＜芳賀東小 田植え＞

No. 150 

2014年5月24日発行
議会だより

はが

3月議会定例会

3月定例会概要（当初予算、補正予算・条例改正ほか）	2～6
総務常任委員会・教育民生常任委員会報告	
産業建設常任委員会審査報告	7～9
一般質問	10～12
聲〈こえ〉私のいたいこと	13
議会日誌・表紙写真募集・編集室	14

3月議会定例会

◎予算総額114億4,410万円を可決

◎議員定数16人から14人へ次回普通選挙から実施することに条例改正

平成26年3月議会定例会は、3月3日から3月17日までの15日間開催しました。

定例会には、平成26年度一般会計、各特別会計予算をはじめ、平成25年度補正予算、条例制定・改正や、議員発議による議会の議員の定数を定める条例の一部改正が提出されました。各常任委員会付託も含めて今年度の重点目標に合致しているか細部にわたり慎重審議がなされた結果、定例会議案全件が原案どおり可決されました。

～みんなで創る やすらぎと豊かさに満ちたまち 芳賀～

- 重点施策
- 学校教育の充実
 - 健康づくりの推進
 - 計画的なまちづくりの推進
 - 防災・消防機能の向上
 - 農業の振興

平成26年度 各会計予算

(単位：千円) △は減

会計別		区分	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	増 減	増減比(%)
一		一般会計	7,438,000	6,600,000	838,000	12.7
特別 会 計	国民健康保険		1,953,000	1,928,000	25,000	1.3
	農業集落排水事業		177,000	177,000	0	0
	工業団地排水処理センター		105,000	171,000	△ 66,000	△ 38.6
	介護保険	保険事業勘定	1,220,000	1,200,000	20,000	1.7
		サービス事業勘定	8,000	8,000	0	0
	公共下水道事業		282,000	329,000	△ 47,000	△ 14.3
	祖母井南部土地区画整理事業		120,000	136,000	△ 16,000	△ 11.8
	宅地造成事業		100	100	0	0
	後期高齢者医療		141,000	130,000	11,000	8.5
	小 計		4,006,100	4,079,100	△ 73,000	△ 1.8
合 計		11,444,100	10,629,100	765,000	7.2	

〈平成26年度一般会計〉

○予算に対する主な質疑

質疑 増測さつき議員 まちづくり委員会で、外部有識者の意見を取り入れてはどうか。

町長 町の将来を視点に外部委員を設置するか検討していきたい。

質疑 増測さつき議員 e-ウエルネスの募集はどのように行うのか。

住民生活部長 生徒数は60人から140人に増しているが、漏れた希望者を中心に募集していく。

質疑 水沼孝夫議員 祖母井神社前付近の整備をどのように進めるのか。

建設産業部長 県道整備後の土地利用、商店街活性化等から沿道整備街路事業による整備が適当と考えます。地元組織と同事業を研究し、2年程度で方向性を出したい。

質疑 水沼孝夫議員 世帯数は増えているのに、自治会や行政区未加入が増えているが、その対策は。

総務企画部長 町自治会連合会で自治会長と議論し、町全体として対策を考えていきたい。

質疑 北條 勲議員 温泉センター更衣室の床等の改修計画はあるのか。

商工観光課長 床については、温泉自体の予算で改修する場合もあるのですが、内容を確認いたします。

質疑 市川宗司議員 消防団の感謝の気持ちとして出動手当の金額を増額する考えはないか。

総務課長 消防団の意見を伺いながら改善を検討したい。

質疑 石川 保議員 出合い事業について、NPOに委託する

とか場所も宇都宮市で実施するとか考えはないのか。

生涯学習課長 今後検討していく必要があります。

質疑 石川 保議員 ロマン太鼓の報酬をあげるような措置が必要では。

生涯学習課長 今後研究検討していきます。

質疑 小林一男議員 芳賀高校跡地の宅地造成100区画予定だが、土地計画も実施中のなか、宅地のグレードを高く設定する

というが、どのようなグレードか。

建設産業部長 不動産業者等と協議しながら、今後実施していきたい。

質疑 杉田貞一郎議員 空き家対策をどのように進めるのか。

建設産業部長 今後、県建物建設協会の協力を得て活用できるものについては活用していきたい。改修費用の補助、家財処理の補助などを検討したい。

質疑 杉田貞一郎議員 芳賀・真岡マラソンについての概要を聞きたい。

生涯学習課長 年齢による区割りなどはある。参加見込みは1000人として計画中です。

一回目の結果を見て、反省後、種目内容を洗い直すことになりました。

質疑 大島 浩議員 優良農地をどう守っていくのか町の方針を聞きたい。農業者の高齢化に伴い、農地の放棄も見られる。

町長 農業の振興を図り、農地の放棄もしっかり見守って

いきたい。

質疑 大島 浩議員 遊友はがの整備について

商工観光課長 降雪時にレストラン等で雨漏りがあり、予防対策の一環として、ロマン開発とテナントの契約の中で保険の加入

で対応していく。モテナスも同じ

状況にあつたので、建設業者等からの提案を受け、費用対効果、建築基準法等に照らし対策を検討

していきます。

質疑 小林俊夫議員 職員採用に際しては、やる気のある優秀な職員を採用するとあるが、健康で体力のある人材も入るようお願いしたい。

総務課長 仕事をするには、体も心も健康でないとできないので、その点も考慮していきたい。

質疑 小林俊夫議員 第2工業団地の考えはないのか。

町長 工業団地については、芳賀町に立地したい企業もあるの

で、26年度調査します。

質疑 見目 匡議員 国や県が目指している農業行政についての研修会等の開催が必要ではないか。

町長 新規就農者への研究会は実施していますが、出席率が低いので検討が必要だと思います。

(常任委員会付託、原案可決)

〈平成26年度特別会計〉

□国民健康保険特別会計

(質疑なし・常任委員会付託・原案可決)

□農業集落排水事業特別会計

質疑 小林一男議員 農業集落排水の不明水は。

建設産業部長 稲毛田・上稲毛田が多く今年度調査し、今後対応について検討していきたい。

(常任委員会付託、原案可決)

□芳賀工業団地排水処理センター特別会計

□介護保険特別会計

(質疑なし・常任委員会付託・原案可決)

□公共下水道事業特別会計

質疑 小林信二議員 丸子苑幸町、緑町等からの要望があるが、町の整備計画は。

建設産業部長 進捗状況を見ながら31年度以降、他の地区も含め優先順位を検討していきたい。

(常任委員会付託、原案可決)

□祖母井南部土地区画整理事業特別会計

□宅地造成事業特別会計

□後期高齢者医療特別会計

(質疑なし・常任委員会付託・原案可決)



〈条例改正〉

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

□芳賀町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

〔内容〕 昨年度に引き続き町の財政状況を考慮し、平成26年4月1日から平成27年3月まで、町長・副町長及び教育長の給料月額をそれぞれ4万円・3万円・2万円の定額を減額して、町長70万円、副町長57万円、教育長53万円に減額した給与を支給するための条例改正を行うものです。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

〔内容〕 月60時間を超える時間外勤務に係る超過勤務手当の支給を、週休日にあつては現在の2割5分割増から、5割増した時間外とするためです。
(質疑・討論なし原案可決)

□芳賀町職員の修学部分休業に関する条例及び芳賀町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について

〔内容〕 地方公務員法の改正に伴い修学部分休業にあつては、現在条例で2年としている期間を4年とすること。高齢者部分休業にあつては、定年前の5年間と期間で表現しているものを年齢表現に改めるための条例改正を行うものです。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町光の道ネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

〔内容〕 光の道のネットワーク施設のインターネット利用料金に10メガの10倍の速度である1ギガを追加するものです。

NTT東日本やKDDIでは既に宇都宮地区でサービスを開始しており、早晚芳賀町内でのサービス提供が始まると思われることから、いち早く芳賀町光の道ネットワーク施設で1ギガのサービスを始めるものです。
(質疑) 水沼孝夫議員
(討論なし、原案可決)

□芳賀町障害程度区分審査会の委員の定数等を定める条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

〔内容〕 「障害自立支援法」に代わり、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律」が平成25年4月1日に施行され、障害者の範囲の見直しが行われたことにより、難病患者等が障害者の範囲に該当することになりました。これに伴い、従来の障害程度を示す「障害程度区分」が、標準的な支援の度合いを総合的に示す「障害支援区分」に改められたことにより、それぞれの条例の一部を改正するものです。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

□芳賀町生ごみ収集運搬及び処理に関する条例の一部改正について

□芳賀町粗大ごみ収集運搬及び処理に関する条例の一部改正について

〔内容〕 真岡市に完成した芳賀地

区エコステーションでの一般廃棄物処理の本格稼働に伴い、平成26年4月から一般廃棄物の収集業務は、芳賀郡中部環境衛生事務組合が行い、処理業務は芳賀地区広域行政事務組合が行うため、関連する条例の一部を改正するものです。
(質疑・討論なし、原案可決)

〈町道廃止・認定〉

□芳賀町道路線の廃止について

〔内容〕 町道路線の廃止は主要地方道宇都宮茂木線芳賀バイパスにより分断される3路線を6路線として再認定するため一旦廃止するもの、及びその分断に伴い、路線の終点を変更するため一旦廃止するものが1路線です。

町道路線の認定は、先に説明しました7路線を再認定するものです。
(質疑・討論なし、原案可決)

〈指定管理者の指定〉

□指定管理者の指定について

(芳賀温泉ロマンの湯)
□指定管理者の指定について

(ふるさと交流センター(遊友はが))

□指定管理者の指定について
(芳賀町工業団地管理センター)及び芳賀町工業団地体育館)

□指定管理者の指定について
(芳賀町温泉健康センター)

□指定管理者の指定について
(なんとかディサービスセンター)

〔内容〕 指定管理者の指定が平成26年3月31日をもって期間満了をむかえることから、引き続き指定管理者の指定をしたいので地方自治法第24条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものです。指定の期間は平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間です。芳賀町の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の選定方法及び選定基準の規定に基づき、これまでの指定管理実績等を考慮し非公算により継続することになりました。
(質疑・討論なし、原案可決)



〈規約の変更〉

□芳賀地区広域行政事務組合
規約の変更について

内容 移動系防災行政無線設備のうち、統制局設備及び基地局設備並びに管理に関する事務を平成26年度から共同処理するため、芳賀地区広域事務組合規約を変更するものです。
(質疑・討論なし、原案可決)

〈補正予算〉

□平成25年度一般会計

一 質疑応答

質疑 見目 匡議員 新交通システムの繰越明許の理由は何か。

総務企画部長 軌道ルート、軌道敷、需要予測の基本的な取り組みを調査するため1月補正で予算計上しましたが、ルートについて立地企業と協議を進めているところ。基本的なところが決まらないと次に予定している事業予測、アンケート調査ができないということで、若干遅れている状況ですので、繰越をかけた。

質疑 見目 匡議員 土木費において1億400万円からの繰越明許の内容を伺いたい。

建設課長 繰越予算1億405万8000円については、追加補正予算に25年度の当初予算分が含まれています。

質疑 見目 匡議員 当初予算は既に発注したものに今回補正をし、繰越をしなければならなくなったのはなぜか。

建設課長 与能・八ツ木線にかかる金井橋上部構の工事は3月20日を目指し急ピッチで工事が行われています。与能・八ツ木線道路改良工事は、橋梁部分の道路改良と県道宇都宮・向田線の取り付けの工事が含まれていますが、上部構が完成しないと道路改良工事が行えないことと県道の取り付け工事を先にやっしまうと、一般車両が進入してしまふということ、工事に支障を来たしますので、上部構が完成してから工事に入るといふことで繰り越しをいたしました。

質疑 見目 匡議員 歳入の部分で、社会資本整備総合交付金の基本的な目的は何か。

建設課長 地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取り組みを支援することにより、

交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発、並びに住民生活の安定確保及び向上を図ることを目的としています。

質疑 見目 匡議員 まちづくり交付金と社会資本整備総合交付金の違いは

建設産業部長 社会資本整備総合交付金は、道路・公園・下水道といった公共施設整備の目的別に計画を立て、今回の補正は栃木県が計画をたててその中に組み込まれた補助事業です。旧まちづくり交付金は、現在は都市再整備計画事業と申しまして、社会資本整備総合交付金の中に入っております。

質疑 見目 匡議員 教育債について芳賀中体育館整備・補強に充てる起債が2本立てになつている理由はなにか。

総務企画部長 2種類の起債について、一つは全国防災事業債もう一つが緊急防災減災事業債です。起債1本で借りたいところですが、それぞれシステムが違っているので、

有利な全国防災事業債を借りた残を緊急防災減災事業債にしました。全国防災事業債は

償還の部分について交付税措置80%、緊急防災減災事業債は70%を見ていただけるものです。

質疑 見目 匡議員 不動産売り払い収入2305万4000円の内容は。

総務課長 芳賀東小学校の県道拡幅の関係で、県の買収があったものです。単価は1平方メートルあたり3万5000円です。

質疑 水沼孝夫議員 見目議員さんから繰越明許費の質疑があり、これからLRTの企業に対するアンケートをこれからやっていくということでしたが、一般町民の方も利用するわけですから、需要予測のアンケートを企業だけでなく、一般町民へのアンケート調査の予定はないのか。

総務企画部長 企業以外の一般町民の方の利用状況は、平成26年度当初予算の中に交通実態調査ということで、宇都宮市が中心となる調査で周辺市町も含めた全体的な交通実態調査を予定しています。その中で取り組みを考えています。

質疑 水沼孝夫議員 衛生費・生活習慣病検診費マイナス補正が組まれているがその理由は。

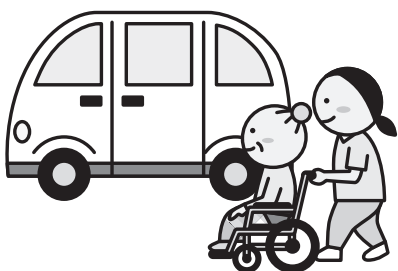
住民生活部長 傾向的に受診率がさがっているということではないが、当初予算見込み数、見込額より少なくなる見込みで減額しました。

質疑 水沼孝夫議員 今後膨らむ医療費を削減していかうという形での検診ですから、受診率を上げていくような方策を今後どのように考えているのか。

住民生活部長 総合検診を含め検診率を上げていく施策を引き続き行っていきたい。

質疑 北條 勲議員 私立保育園支援費について、9月・12月で増額補正して今回減額補正の理由は。

こども育成課長 保育士の給与改善事業・1才児保育士増員事業において、県補助金でまかなうことができたためです。
(討論なし、原案可決)



□国民健康保険特別会補正予算
(質疑・討論なし、原案可決)

□農業集落排水事業特別会計
補正予算
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀工業団地排水処理セン
ター特別会計補正予算
(質疑・討論なし、原案可決)

□特別会計補正予算
北條 勲議員 工事設計
監理料で、当初予算895万円が減
額が720万円の理由は

商工観光課長 当初業務委託
する予定で考えていましたが、自
前で設計ができたので、減額し
ました。
(討論なし、原案可決)

□介護保険特別会補正予算
(質疑・討論なし、原案可決)

□公共下水道事業特別会計補
正予算
(質疑・討論なし、原案可決)

□祖母井南部土地区画整理事
業特別会計補正予算
(質疑・討論なし、原案可決)

〈同意案〉

□固定資産評価審査委員の選
任について

□人権擁護委員の候補者の推
薦について
(質疑・討論省略、原案可決)

〈決議〉

□特殊詐欺を撲滅し、町民生活
の安全・安心を確保する決議
について
(質疑・討論なし、原案可決)

〈発議〉

□国民の祝日「山の日の」の制定を
求める意見書の提出について
(質疑・討論なし、原案可決)

〈追加議案補正予算〉

□平成25年度芳賀町一般会計補
正予算

内容 6370万1000円を追
加し、予算総額を79億4714
万円とするものです。主な
歳出は、スマートグリッド通
信インタフェース導入事業
の企画開発費及び工事費
6100万1000円、大雪に

よる被害による補助金270万円
です。
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成26年度芳賀町一般会計補
正予算

内容 2億8280万円を追
加し、予算総額77億2080万
円とするものです。主な歳出は、大
雪により被害を受けた農業者向
け経営体育成支援事業費補助
金2億8130万円です。

〈条例改正〉

□芳賀町議会議員の定数を定
める条例の一部改正について
【詳細内容は左記に記載】
(質疑・討論なし、原案可決)

次回の一般選挙から 議員定数が 16人から14人に 変わります!!

今回の定例会で議員発議として議員定数条例の一部改正を
提出し、16人から14人に改正することを可決しました。

当町の議員定数は16人ですが、先の統一選挙においては
定数割れの状況になってしまいました。また、少子高齢化の
進行に伴い、全国的に人口減少が進むなか、芳賀町でも例外
ではなく、その傾向が顕著に表れております。そのような現
状を踏まえ議会改革検討委員会において、将来を見据えた議
員定数の在り方について検討してきたところです。

その結果、長期的な視点において、町民の声や財政的なも
のを勘案して2人減の14人が適正な定数であるとしたもの
で、次の一般選挙から議員の定数削減を行うため、条例改正
をしました。



総務常任委員会報告

書類審査から

○一般会計予算中、他の常任委員会の所管に属さないすべての歳入歳出

(総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局)

◎企画課

問 スマートグリッド省エネとは何か。

答 デマンドシステムを使って最高使用電力を監視し、電気料金を抑える仕組み。国の補助事業の内示があり、補助金の他残りの事業は特別交付税措置がある。

◎総務課

問 下高根沢地内にある太陽光発電施設について説明してほしい。

答 契約当初から工事が遅れ、まだ着手していない。^{あかみち}赤道の許可、施工業者未定などが理由。



現地調査

- 真岡消防署
- 芳賀地区エコステーション

報告書

昨年2月1日に町有財産である下高根沢猿久保地区において、スカイソーラー^{ジャパン}株式会社と太陽光発電施設の賃貸契約と協定書を締結した。

協定書において、平成25年4月着工、同年12月発電開始の予定であったが、いまだに着工されていない。全国的に国の認可を受けながら未着工のケースが見られるので、今回の契約においては適切な対応を執られたい。

また、今後町有地でこのような提案を受けた場合は、慎重に対応されたい。

厳しい財政状況の中、芳賀町では行財政改革に取り組み人件費削減に努力しているが、地方分権の進展による地方自治体の業務量の増加も見込まれるので、町民が安心してサービスを受けられるよう適正な職員構成や配置が行われるよう長期的に検討されたい。

教育民生常任委員会報告

書類審査内容

- 一般会計中、教育民生常任に員会の所管に属する歳入歳出（住民課・健康福祉課・環境対策課・こども育成課・生涯学習課説明）



◎こども育成課

問 報酬が安いので臨時保育士が見つからないのではないか。単価アップしても良いのでは。

答 報酬月額16万5千円です。処遇改善、保育園の在り方、正職員の確保が必要。

◎環境対策課

問 ごみの出し方が変わるので、各地区で説明会があったが、分かりにくいと聞いている。説明資料等分かりやすいように望む。

答 特に変更になる点については、分かりやすい説明にするよう気をつける。

- 国民健康保険特別会計歳入歳出（住民課説明）
- 介護保険特別会計歳入歳出（健康福祉課説明）
- 後期高齢者医療特別会計予算歳入歳出（住民課説明）



現地調査

- 生涯学習センター（冒険遊び場）
- 芳賀中学校（体育館）
- ウエルネス教室（モテナス）
- 町民会館
- 議員駐車場北側

報告書

祖母井保育園において、職員の産休・育児休業が予定されるなか、通常は嘱託職員による対応がなされてきた。しかし、公募したにも関わらず、必要人員を確保できなかったため、来年度は人材派遣会社からの派遣で対応することを予定している。保育士配置に苦慮するなか、正保育士の増員を検討し嘱託職員の処遇改善をすすめ、保育士確保ならびにさらなる良好な保育環境の構築に努められたい。

産業建設常任委員会報告

書類審査内容

○一般会計予算中、産業建設常任委員会の所管に属する歳入歳出（農政課・建設課・商工観光課・都市計画課説明）

◎商工観光課

問 工業団地の未利用地はあるか。

答 町有地はありませんが、民地が13haほど点在しています。

◎建設課

問 地積調査は順調に進んでいるか。

答 立ち会いをお願いしながら現在のところ順調に進んでいます。

○農業集落排水事業特別会計予算歳入歳出（都市計画課説明）

○工業団地排水処理センター特別会計予算歳入歳出（商工観光課説明）

○祖母井南部土地区画整理事業特別会計予算歳入歳出（都市計画課説明）

○宅地造成事業特別会計予算歳入歳出（都市計画課説明）



現地調査

○総合運動公園 ○旧芳賀高校 ○打越新田地内土地改良

○芳賀工業団地排水処理センター ○芳賀工業団地内の現状

○町道市の堀線 ○町道飯島・上横西線

報告書

芳賀工業団地には101社が順調に操業され、本町の財源に大きく寄与している。

また近年、企業から団地への立地希望の引き合いが多くなってきている現状にある。

一方、団地内民有地の未利用地については、企業からの面積、形状等要件が満たされず、誘致につながっていない。

今後は、LRT構想により団地内企業の活動がさらに活性化が予想され、それに伴う団地拡張は大変重要であり、適正規模をしっかりと短期間で造成、分譲されるよう強く望む。



北條 勲 議員

平成34年度開催の国体会場は

町 競技の誘致を教育委員会に指示しました

問 平成24年12月議会で、芳賀町の児童生徒の体力低下がありますとの答弁でした。その後について伺う。

- ① 体力向上推進委員会の開催は
- ② 学校の新たな研究内容は
- ③ 梨の里マラソンの感想は

各学校へスポーツインストラクターの派遣

答 教育長 ① 町内の保育園、幼稚園小中学校の職員、スポーツ推進委員、大学教授の専門員にも依頼し、芳賀町子どもの体力向上推進委員会を昨年6月に立ち上げ検討しています。

② 推進委員会の中で「幼児期に体を動かすことが大好きな子どもを育てることが重要」との意見があったことから、幼稚園・保育園・小学校に積極的な運動の取り組みをお願いしました。推進委員会においてもさらなる向上策を検討します。
③ 平成24年度と25年度を比較しますと、参加人数も入賞者の数も増加し、好ましい方向に向かっています。

問 部活動等に所属していない、気軽に運動する場が必要である、その内容を伺う。

答 教育長 問題は、学校外スポーツクラブの体制づくりを期待しています。



保育園でのランニング



小学生の縄跳び講習会

平成34年度開催の国体について

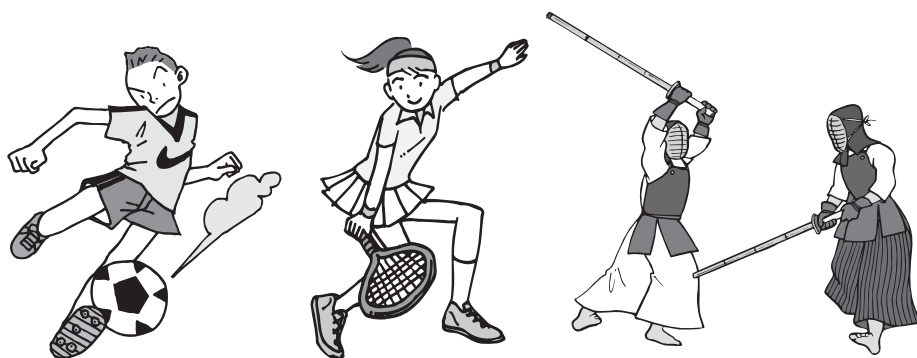
問 わが国最大のスポーツの祭典である国体が、栃木県で開催されます。国体終了後に全障害者スポーツ大会も開催されます。知事は大会の成功に向けて、栃木県総合スポーツゾーンの全体構想が決定したと発表しました。

正式競技37のうち、当町はどの競技に会場を提供するのかまた、施設の整備をどのようにするのか伺う。

平成28年度に競技別会場決定予定

答 町長 今まで全国規模のスポーツ大会は、町内で行なわれたことはありません。この機会に何らかの競技が開催できるように、競技の誘致を教育委員会に指示しました。詳細については、教育長に答弁させます。

答 教育長 県から紹介のありました開催意向予備調査では種目ごとの国体施設基準を考慮して、本町では一番目にソフトテニス、二番目に剣道、三番目にサッカーを希望種目として報告しました。施設の整備は、本町と隣接市町との共同開催により現在の施設で基準を満たすことが可能と考えられます。また、協議の中で必要に応じ、施設の整備も考えています。



セーフティータウン芳賀について

町 関係機関と協議しながら検討



市川宗司 議員

問 記録的な大雪によって被災された施設園芸農家が、今後も意欲を持って農業を継続していけるように万全の対策を講じていくことが行政の責務と考えますが、町としてどのような対策で臨まれるのか、考えをお示しいただきたい。

答 町長 被災された農家の皆さんが今後とも農業を続けていけるよう、今回の議会中に補正予算を計上して支援していきたいと思っております。

補正予算を計上して支援していきたい

問 芳賀町「防災の日」を提案します。

芳賀町地域防災計画について

答 町長 「防災の日」を提案します。二点目として、平成25年12月13日公布、施行された「消防団の装備の基準及び消防団員服制基準の改正」について、町の対応をお伺いしたい。

必要性や緊急性の高いものから順次整備したい

問 必要や緊急性の高いものから順次整備したい

答 町長 町としては、まず県民を対象とした栃木防災の日と歩調を合わせた活動に取り組み、芳賀町独自に防災の日を設定する必要がある場合は、二点目の「消防団の装備の基準及び消防団員服制基準の改正」では、救助用半長靴や救命胴衣等の消防団員の安全確保のための装備を充実すること、携帯用無線機やトランシーバーの双方向の情報伝達が可能となる装備を充実することなどの改正が行われました。

この改正に伴う経費を、地方交付税の基準財政需要額に算入し措置するとし、これらを大幅に増額するとの声明がなされており、これらの状況を把握していきたいと思えます。消防団の皆さんと協議し、必要性や緊急性の高いものから順次整備したい。

芳賀町の駐在所を交番に格上げしては

問 近年芳賀町内においても窃盗事件等多発しており、町中心の祖母井駐在所を24時間体制の交番に格上げする要望書を、県及び県警察本部に提出されることを提案いたします。

答 町長 住宅侵入窃盗犯は、25年には12件発生しており、一千世帯当たりの2・42人件で、県内市町村ワースト2位という結果がでています。交番が設置されれば交代勤務による24時間体制の警戒活動が行われ、町民の皆さんの安全が昼夜を問わず向上すると思えます。一つの駐在所が交番に格上げとなり機能が強化されることで、他の駐在所を統廃合するという議論が提出される懸念があることから、関係機関との協議を十分に行い、要望書提出について判断したい。

関係機関と協議し判断



< 祖母井駐在所 >





増淵さつき 議員

地域福祉推進の大きな柱「地域福祉計画」の策定はいつ?

町 関係団体と連絡をとりつつ本年度策定を目指します

問 地域福祉計画は、平成12年6月の社会福祉事業法等の改正により、社会福祉法に新たに規定された事項であり、市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉計画からなります。地域福祉計画の策定は各地方自治体が主体的に取り組むことになっており、地域住民の意見を十分に反映させながら策定する計画であり、今後の地域福祉を総合的に推進する大きな柱になるものです。

以前、芳賀町振興計画の後期計画で検討するとの回答を得ていますが、計画策定への取り組みをお聞きします。

平成26年度策定を目指します

答 町長 地域福祉計画策定の目的は、個人ごとの福祉課題の解決ではなく、生活の場である地域全体の課題と捉え、助け合い、支え合い、高齢者・児童・障がい者などの社会的弱者と、地域すべての住民が暮らしやすい町の構築を目指すものです。

県内の策定状況は、市部では全市策定済みですが、残る12町のうち当町を含め8町が未策定です。町では、地域福祉計画について、地域の福祉施設の環境整備や福祉団体と人材の育成活用、地域住民の理解と共助意識の向上、防災・防犯対策などの地域福祉全体の向上策について、福祉分野における諸計画との整合性を図りながら、関係団体と連絡を取りつつ、平成26年度策定を目指します。

では、地域の福祉施設の環境整備や福祉団体と人材の育成活用、地域住民の理解と共助意識の向上、防災・防犯対策などの地域福祉全体の向上策について、福祉分野における諸計画との整合性を図りながら、関係団体と連絡を取りつつ、平成26年度策定を目指します。

子どもの貧困対策 町の取り組みは?

問 厚生労働省が2011年に公表した最新の日本の子ども（17歳以下）の相対的貧困率は15.7%で、6人に一人が貧困状態で暮らしていることになるといふなか、状況改善に向け2月17日に「子どもの貧困対策推進法」が施行されました。

子どもの貧困率はひとり親世帯では半数を超え、とりわけ母子世帯が高くなっています。また、婚姻歴の有無で不利益を生じないよう非婚ひとり親支援の動きが全国の自治体で広がっており、県内でも日光市と鹿沼市が非婚ひとり親家庭を支援するため「寡婦（夫）控除」をみなし適用し保育料や市営住宅家賃を減免するそうです。



<内閣府 子ども・若者白書から>

町のひとり親支援拡大についてお聞きします。

国の大綱や県の計画を検討の上、支援していく

答 町長 町での既存の支援事業としては、ひとり親家庭医療費助成による18歳までの医療費の無料化や、遺児手当、生活保護世帯と住民税非課税母子世帯の一部に対して保育料の免除、生活困窮者の小中学生に対しては、要保護・準要保護制度による支援を、大学への進学者に対しては、低所得世帯に該当する場合は無利子での奨学金を優先的に貸与しています。

現在町では、所得税法上の「寡婦（夫）控除」のみなし適用での減免措置はしていませんが、前述

の事業で保育料の減免や負担軽減になっています。

今後、ひとり親支援の拡大は、子どもの貧困対策推進法により、国が定める貧困対策に関する大綱や県が定める子どもの貧困対策計画の趣旨と事業効果検討のうえ、支援を行っていきます。

問 生活困窮家庭の教育支援策に就学援助制度があります。就学援助率の高い市町村ほど制度の案内文をまめに配布する傾向が見られます。町の周知方法の考えをお聞きします。

答 町長 町での既存の支援事業としては、ひとり親家庭医療費助成による18歳までの医療費の無料化や、遺児手当、生活保護世帯と住民税非課税母子世帯の一部に対して保育料の免除、生活困窮者の小中学生に対しては、要保護・準要保護制度による支援を、大学への進学者に対しては、低所得世帯に該当する場合は無利子での奨学金を優先的に貸与しています。

答 町長 今後、給付型について検討してまいります。

問 町の奨学金制度について現在の貸与型の他に給付型の奨学金を設置できないかお聞きします。

答 町長 今後、給付型について検討してまいります。





明るい芳賀町に



岩村和子さん
(稲毛田)

朝目覚めたとき、今日も何事もなく、平穏無事に過ごせますようにと願いつつ、バタバタと一日が過ぎていく毎日です。

議会だよりは一通り目を通し、町の動きを確認するくらいでした。これではいけないなあと思っていました。

芳賀町民になって20数年、どんな町か考えることもなく、子育てと仕事に時間が過ぎてしまいました。

専業農家であるわが家は、現在夫婦2

人で頑張っていますが、農家の厳しさは日に日に感じます。自然災害で農作物への被害の心配が常に頭の中にあります。

そんな中、議会だよりを目にしながら明るい町にするために議員の皆さんが頑張っている様子が分かります。

今年町制施行60周年です。農業、その他に関してもますます発展していくよう議会活動に期待します。

責任ある行動

昨年芳賀町に就職し、社会人になってから一年が過ぎました。大学に入学し、一人暮らしを始めたころから感じていたことですが、責任ある行動や発言が求められるということをあらためて実感しています。

私は「責任感」という意味では、学生であれ社会人であれ、程度の差はないものと感じます。組織が同じ目標を持って活動しているのは社会人も学生も同様だと思うので、責任の感じ方というものは今までとは変わっていません。

しかし、社会では学生時代と異なり失

敗したときの周囲への影響も大きなものになります。それを恐がらずやりがいを持って仕事をしていき、自分の成長へと繋げていきたいと思えます。

4月からは消防団にも入り、仕事柄、地域の人たちと接することも多いので、視野を広げながら芳賀町の良さを発見していけたらと感じています。

芳賀チャンネルでは芳賀町議会の内容を放送していますが、これからは、一人の社会人、町民として興味をもって視聴していければと思います。



齋藤 舜さん
(芳志戸)

安全な登下校



小野瀬宏枝さん
(西高橋)

皆さん、スクールガードをご存じですか？ スクールガードとは、児童等を狙った事件が増えている状況を踏まえ、児童の登下校などに見守り活動を行ってくださるボランティアの方々です。

息子が昨年小学校に入学し、子どもが安心して学校に通えることを第一に考えています。芳賀町は、各学校の学区が広いため、下校途中に一人になってしまう子がいます。そんな時に、迎えに行ける親ばかりではありません。近所の方々スクールガー

ドとして見守ってくれたら子どもも親もどんなに安心できることでしょうか。芳賀町近隣の宇都宮市、真岡市、市貝町も、スクールガードの方々やりがいを感じながら、子どもの安全を見守ってくれています。芳賀町稲毛田でも、「見守り隊」が活動されています。学校・保護者・地域のより一層の連携と強化が求められる中、ぜひ、その他の地域でも現在行われている「青色パトロール」に加え、スクールガード活動が盛んになることを望みます。

議会日誌

平成26年

2月

- 7日・水道運営委員会
- 14日・議員全員協議会
- 20日・企業団例月出納検査
- 21日・議員運営委員会
- 24日・県議長会・研修
- 27日・中部環境定例会
・企業団定例会

3月

- 3日・定例会（～17日）
- 5日・全員協議会
- 10日・芳賀中学校卒業式
- 17日・議会運営委員会
- 19日・小学校卒業式
- 20日・企業団例月出納検査
- 27日・町政功労者表彰式
- 30日・芳賀エコステーション竣工式

4月

- 1日・辞令交付式
- 8日・中学校入学式
- 9日・小学校入学式
- 21日・企業団例月出納検査
- 22日・郡議長会監査

5月

- 14日・町政懇談会
・議員会、議友会総会



議会だよりの表紙写真を募集!

芳賀町の「議会だより」は、年4回と随時に臨時号を発行し、町内各戸や関係機関へ配布しています。

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集します。

テーマ「元気な芳賀町」(人物・風景等は問いません。)

応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント(L版以上)またはデジタルデータのタテ型
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得て応募してください。
- ・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。

審査方法 芳賀町議会広報常任委員会にて審査します。

応募締切 平成26年7月31日(木)

応募先 芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は8月発行予定です。



はがチャンネルも見てね!!

〈次回の定例会開催予定日は6月3日(火)です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

※議会定例会の様様をその日の20:00～と再放送を翌日8:00～に放映

編集室

昨年は東京都知事5千万円今年になってみんなの党代表8億円。政治家の多額借り入れが問題となっています。法的問題は司法に委ねられることとなりますが、日本の選挙は多額のお金がかかることは現実のようです。

選挙事務所を立ち上げ供託金を払い、ポスター・チラシを用意し、スタッフを雇用し選挙カーを運行する、事務所内はさながらひとつの有限会社の様相です。これらを賄うには多額の自己資金が必要ですが、用意できなければ志はあってもなかなか立候補出来ないと思います。

政治家と庶民意識の乖離が問題視されますが、選挙資金のあるなしに関わらず志ある庶民が立候補できる制度、社会、国民意識の改革を進めることしかこの問題の根本解決にはならないのではないかと思います。

(議会広報常任委員会)

副委員長 小林一男記)

